

# 平和行動in広島



新庄最上地域協  
NEWS

2013. 09

連合山形

新庄最上地域協議会

〒996-0084

新庄市大手町 2-60

TEL : 0233-23-1515

FAX : 0233-23-1501

連合平和行動に

参加して

新庄市職労 橋本千尋

8月4日から6日まで連合平和行動in広島に参加させていただきました。この3日間は様々なことを考えさせられる大変有意義で貴重な時間でした。

今回の平和行動で印象に残ったのが2日目に行われた連合2013平和広島集会での被爆体験者のお話でした。68年前の8月6日、当時20歳だった語り部

の方の体験談は、とても考えさせられるものでした。語り部の方は実際に体験した当時のたくさんのつらい出来事や、助けられなかったもどかしさや後悔を話してくださいました。思い出すとつらいとのことでしたが私たちのような若い世代へ戦争の苦しみを伝えるため、そしてこれからの人のためにも核兵器の廃絶と恒久平和の実現のため、諦めずに日々活動を続けていくという強い意志を示してくださいました。私には想像もできないことばか

りでしたが、今のこの当り前に思っている平和な毎日は、過去のつらい出来事があったからこそだということをお忘れずに過ごしたいと思いました。核兵器の廃絶と恒久平和の実現のため自分ができることを考え、参加できる活動には積極的に参加していこうと思いました。

最後に、今回平和行動に参加させていただきありがとうございます。



3日間の平和行動を通して、多くの貴重な経験をさせていただきました。

最も印象に残っているのは「平和記念資料館」で見た真っ黒に焦げたお弁当箱です。それは子どもの遺体から見つけられたものでした。食料のない時代に母親が詰めてくれたお弁当を大事に抱えたまま亡くなったと思うと心が苦しくて堪りませんでした。

また、平和集会での被爆者の講演では日常が非日常になった瞬間、映画やテレビでは知ることがなかったであろうことなど、実際に被爆した方でないと伝えられない話を聞くことができず貴重な経験となりました。

私の祖父は戦時中、通信の係りで広島にいたことがあり、原爆投下の前日くらいに広島から帰ったと聞いています。もし祖父が広島で被爆していたら私は生まれていなかったかも



しれないと考えると、今回広島での平和行動に参加できたことは大きな意義があったと感じます。

原爆の恐怖は被爆した方ではないと分からないことであり、戦争を経験したことの無い私たちがそれを伝えていくのは難しいことですが、目を背けず、戦争を学び次世代に戦争・原爆の恐怖、平和の尊さを伝える努力をしなければならぬと思います。



当該地区の新庄最上地協の渡辺議長より佐々木園長に贈呈

# 支援カンパ金の贈呈式

連合山形は、震災による県内避難者の「就労支援」を目的に避難者(子供)を受け入れている「認可外施設」に対して支援カンパ金を贈呈することになりました。新庄最上地区では新庄市金沢にある「ひまわりの保育園」が対象となり、9月3日に地協事務所内にて、贈呈式を執り行いました。ひまわり保育園からは佐々木裕美園長が出席していただき、震災後に述べ3名の園児を受け入れていたと説明がありました。さらに園長からは「認可外施設へ目を向けていただき大変感謝している。頂いたお金は1円ともムダにせず有効活用させていただきます。」と御礼の言葉をいただきました。

**今後は新庄最上地協Newsを  
連合山形のHPに掲載します**

HP内の域協議会活動報告をｸﾘｯｸしてご覧になれます！

URLは ⇒ <http://www.rengo-yamagata.jp/>